２０２５年６月３０日
株式会社　東邦銀行

「お客さま本位の業務運営に関する基本方針」に係る成果指標（独自ＫＰＩ）並びに「投資信託・外貨建保険の販売会社における比較可能な共通ＫＰＩ」の公表について

株式会社東邦銀行（頭取：佐藤　稔）は、２０１７年６月２６日に制定・公表いたしました「お客さま本位の業務運営に関する基本方針」に係る成果指標（独自ＫＰＩ）並びに「投資信託・外貨建保険の販売会社における比較可能な共通ＫＰＩ」を公表いたします。

基本方針に基づく具体的な取組状況につきまして、お客さまにより分かりやすく確認いただけますよう、定期的に公表してまいります。

今後とも、当行グループ一体となり、お客さまの資産形成および資産運用に係る業務におきまして、常にお客さま本位の業務運営を徹底してまいります。

「お客さま本位の業務運営に関する基本方針」に係る成果指標の状況について

１．お客さま本位の業務運営

＜基本方針＞　―１．お客さま本位の業務運営―

（１）高い専門性と倫理観を保持し、誠実・公正にお客さまへの商品・サービスの提供を行い、法令等に従い適切にお客さま本位の業務を遂行してまいります。

＜２０２４年度具体的取組方針＞

（１）当行は、長期経営計画「TX PLAN ２０３０」に掲げる「お客さま一人ひとりのゆたかな暮らしづくり」実現のため、お客さま本位の業務運営を徹底してまいります。

（２）最寄りの営業店で、いつでも現状の確認や相談、見直しがいただける、地域に根差す地方銀行らしいコンサルティング営業により、地域のお客さまの豊かな暮らしづくりを生涯にわたってサポートしてまいります。

（３）お客さまとの対話を通じて、ライフイベントやニーズ、ご意向、資産運用の目的（ゴール)をしっかりと把握いたします。

（４）ご提案にあたっては、高い専門性と倫理観のもと、誠実・公正に商品・サービスを提供することを通じて、お客さまの最善の利益を目指してまいります。短期的な利益追求ではなく、長期・分散・積立等のリスク分散手法を組合せ、長期間にわたる伴走を意識したご提案を行います。

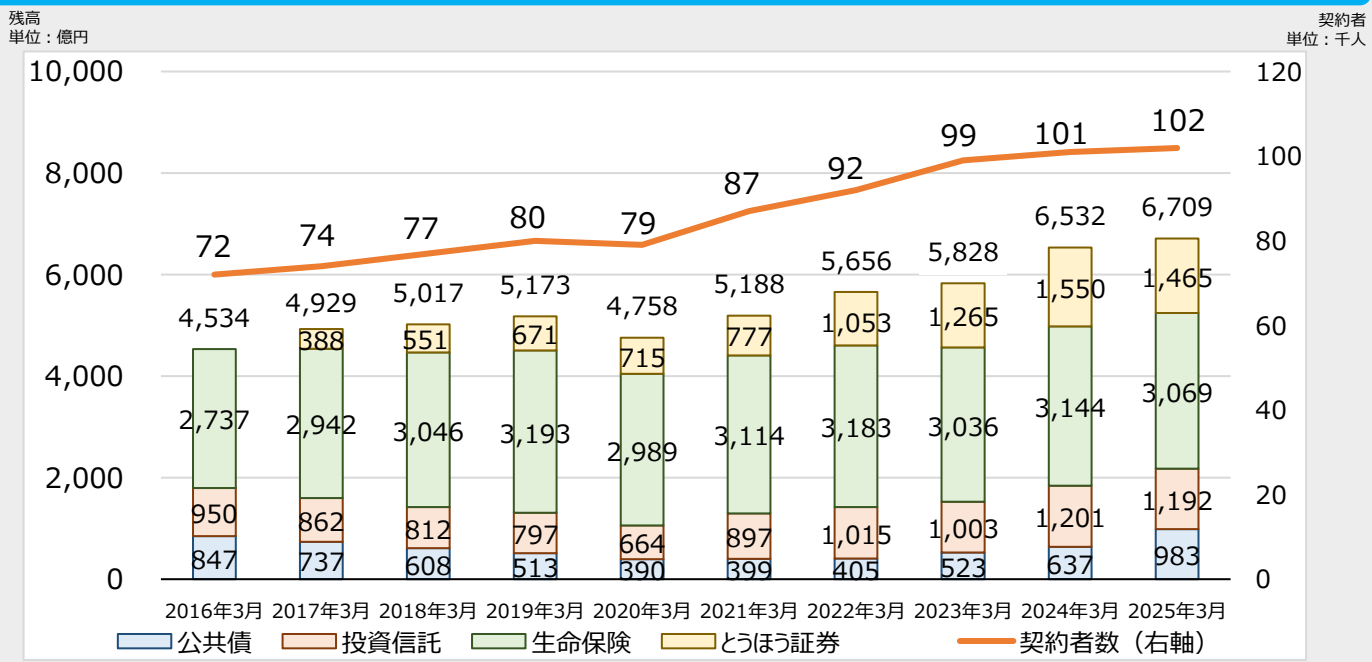
（５）お客さま本位の業務運営の実施状況を定期的に検証し、改善・見直しを行うことで、質の向上を図ってまいります。具体的には行内「法令遵守委員会」へ報告し、取組内容や改善策を協議します。また、お客さまの豊かな暮らしづくりのお手伝いの実現状況の指標として、投資信託や外貨建保険等の取組状況・ＫＰＩ（成果指標）を、またお預け頂いた投資信託の残高等を、毎年公表します。

＜取組状況＞

（１）長期経営計画「TX PLAN ２０３０」に掲げる「お客さま一人ひとりのゆたかな暮らしづくり」のため、お客さまの最善の利益を目指したコンサルティング提案を実践しております。その結果、預かり資産の契約者数は、前期比１千人増加し、10.２万人となりました。

（２）また、「地方銀行らしい預かり資産営業」を目指し、地域のお客さまの資産形成に適した商品のご案内に取り組んでおります。昨年度は、「金利のある世界」への変化を背景に、お客さまの国債に対するニーズの高まりを受け、グループ全体の預かり資産残高は、６，７０９億円（前期比＋１７７億円）となりました。

預かり資産残高、契約者数の推移



※2025年3月末の預かり資産残高、契約者数には、野村アライアンス新仲介口座を含めておりません。

本基本方針・具体的取組方針・取組状況は、金融庁「顧客本位の業務運営に関する原則」における・原則２【顧客の最善の利益の追及】 に該当します。

２．お客さまの利益を守る利益相反の適切な管理

＜基本方針＞　―２．お客さまの利益を守る利益相反の適切な管理―
（１）お客さまの利益が不当に損なわれることがないよう、当行が定める「利益相反管理方針」に従い、適切に利益相反の管理を行ってまいります。

＜２０２４年度具体的取組方針＞
（１）お客さまのご意向に反して、高い手数料が得られる商品等を不当に推奨・販売することにより、お客さまの利益を害することがないよう、お客さまの利益が相反する可能性を正確に把握し、適切に管理・検証する態勢を整備しています。
（２）また、お客さまの意向に反する取引が行われないよう、毎月の商品毎の販売状況や、高齢者の方のお取引、お客さま本位の業務運営の取組状況等を本部で随時モニタリングします。

＜取組状況＞
（１）利益相反取引に関しては、グループ内等で発生する利益相反可能性のある取引等を特定・類型化し、本部によるモニタリング等を通じ、利益相反の適切な管理を実施しております。
（２）なお、当行では同一グループに属する別の会社が組成する商品の提供はありません。

本基本方針・具体的取組方針・取組状況は、金融庁「顧客本位の業務運営に関する原則」における
・原則３【利益相反の適切な管理】 に該当します。

３．お客さまへの情報提供の充実

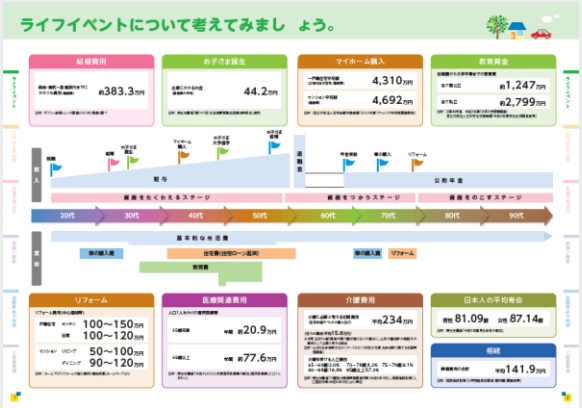
＜基本方針＞　―３．お客さまへの情報提供の充実―
（１）ご提案する商品・サービスの仕組みや特徴について、お客さまの金融知識等に配慮したうえで、明確かつ平易な言葉で、お客さまの立場に立って分かりやすくご説明してまいります。
（２）商品・サービスの説明にあたっては、重要な情報が記載された分かりやすい資料の活用に努めてまいります。

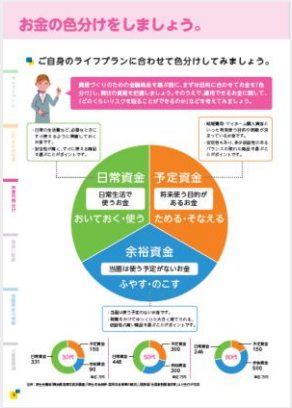
＜２０２４年度具体的取組方針＞
（１）お客さまへの情報提供は、お客さまの取引経験・金融知識、商品・サービスの複雑さ等を考慮のうえ、重要情報シートや契約締結前交付書面をはじめとした各種資料を使用し、ご説明いたします。
（２）説明にあたっては、お客さまのご理解が進むよう、分かりやすい表現を心掛けます。また、東邦銀行「豊かなくらしづくり応援ガイドブック」や、QUICK社提供ツール（投資信託）タブレット端末（保険）等を活用し視覚的な情報提供も行ってまいります。

＜取組状況＞
（１）お客さまへの情報提供は、お客さまの取引経験・金融知識、商品・サービスの複雑さ、情報の重要性等を考慮のうえ、重要情報シートや契約締結前交付書面をはじめとした各種資料を使用し、丁寧な説明をこころがけております。
（２）説明にあたっては、お客さまのご理解が進むよう、分かりやすい表現を心掛けております。また、東邦銀行「豊かなくらしづくり応援ガイドブック」をはじめとした各種資料を、QUICK社提供ツール（投資信託）タブレット端末（保険）等を活用し、視覚的な情報提供も行っています。
（３）資産運用セミナーや職域セミナー等を通じて地域のお客さまの資産形成のサポートに取り組んでおります。また、「とうほう親子マネースクール」、福島大学への提供講座などを通じ、金融リテラシー向上に取組んでおります。
（４）なお、当行では一部の外貨建生命保険等のパッケージ商品をお取扱いしておりますが、各種資料を用いた分かりやすい丁寧な説明を心掛けております。

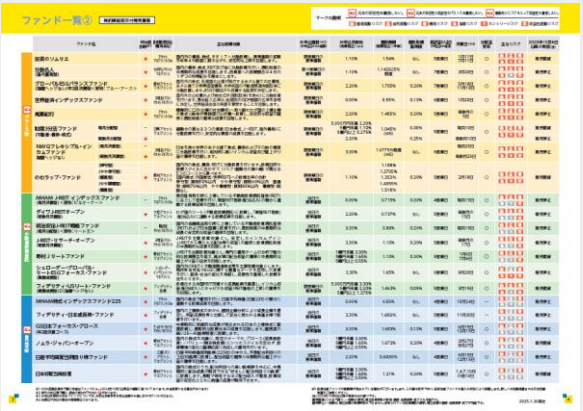
本基本方針・具体的取組方針・取組状況は、金融庁「顧客本位の業務運営に関する原則」における
・原則５【重要な情報の分かりやすい提供】に該当します。

提案時資料例

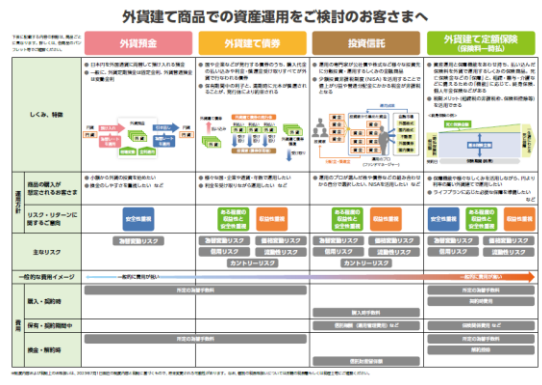




投資信託提案

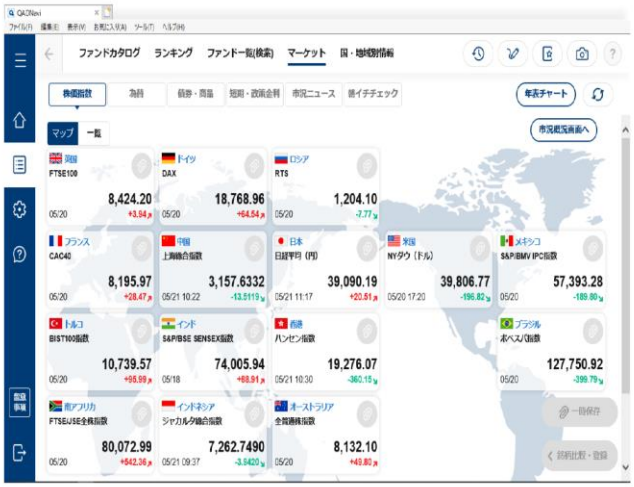


生命保険提案



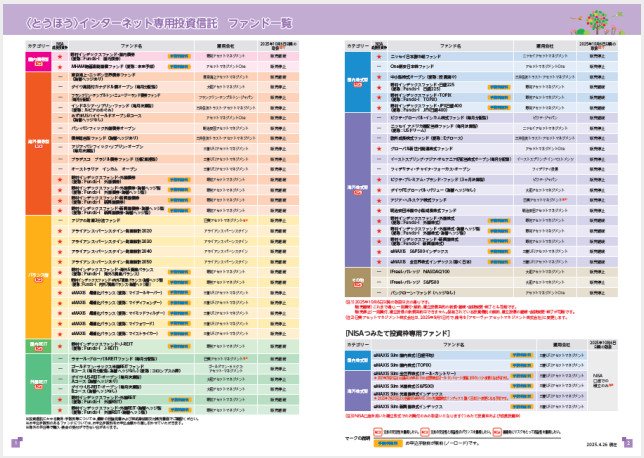
公共債提案

タブレットによる提案



ポートフォリオ提案

インターネット投資信託



ホームページコンテンツ

金融経済教室・セミナーの実施

とうほう親子マネースクール

対象：小学生１１５名参加

お金の大切さや使い方などについて楽しく学んでいただくために開催（福島市で開催）

福島大学への提供講座

対象：大学生延べ2,538名受講

地域金融機関の機能と役割等に理解を深めていただくために開催（福島市で開催）

TOHOキッズcafeキャラバン

金融教育	開催月	参加人数
とうほう親子マネースクール	8月	115名
エコノミクス甲子園	12月	32名
金融教育（出前授業）	随時	893名
福島大学提供講座	4月～7月	2,538名(延べ人数)
TOHOキッズcafeキャラバン（こども食堂）	随時	89名
TOHO探検隊（職場体験）	随時	83名
Out of Kidzania（職場体験）	11月	40名
イベント（他団体主催）	7月・10月	90名

各種セミナー等の開催状況

セミナー名	開催月	開催回数
職域セミナー	随時	93回
早春資産運用セミナー	2月	2回(2会場286名)
セカンドライフ応援セミナー	5月	5回(5会場51名)

４．お客さまサービス対価の透明性向上

＜基本方針＞　―４．お客さまサービス対価の透明性向上―

（１）お客さまにご負担いただく手数料等については、透明性を高めるとともに、お客さまにご理解いただけるよう分かりやすく丁寧にご説明してまいります。

＜２０２４年度具体的取組方針＞

（１）手数料は、各種情報提供や事務コスト・人件費等を総合的に勘案した対価であり、商品属性だけでなく、説明に要する負担やその他業務運営全般にかかるコストに鑑み、商品提供会社と協議の上決定します。

（２）手数料はお客さまの投資判断において影響を及ぼす重要な情報であり、重要情報シートや契約締結前交付書面、目論見書、販売用資料、設計書等を使用したわかりやすい説明を徹底します。

（３）手数料に関しましては、重要情報シートや契約締結前交付書面、目論見書等を使用し、わかりやすい説明を徹底します。

＜取組状況＞

（１）商品導入にあたっては個別商品毎に手数料率を協議の上、決定しております。

（２）手数料その他の費用の詳細につきましては、商品を販売する際にお渡しする、販売用資料や重要情報シート、設計書等にて確認が可能な他、営業担当者がお客さまが比較可能な形でのわかりやすい説明を行っております。

本基本方針・具体的取組内容・取組状況は、金融庁「顧客本位の業務運営に関する原則」における・原則４【手数料の明確化】に該当します。

５．お客さまの意向に沿った商品・サービスの提供

＜基本方針＞　―５．お客さまの意向に沿った商品・サービスの提供―

（１）お客さまの資産状況や取引の目的等を総合的に勘案し、お客さまの資産形成および資産運用の意向に沿った、適切かつふさわしい商品・サービスをタイムリーに提供してまいります。

（２）市場動向を踏まえた商品の選定・見直しにより、お客さまの多様なニーズに的確にお応えできるラインナップの充実に努めてまいります。

（３）お客さまに安心してお取引を継続していただくため、お預かりしている資産に関する情報提供を定期的かつ継続的に行い、アフターフォローの充実に努めてまいります。

＜２０２４年度具体的取組方針＞

（１）お客さまのご投資に関する知識・経験、資産状況、ご家族構成等を詳細にお伺いし、お客さまにふさわしい商品・サービスをご提案します。

（２）取扱商品は、お客さまの長期での資産形成に資することを主眼に、幅広く品揃えいたします。販売状況や運用状況等をモニタリングし、ラインナップの拡充・見直しを適宜行いますが、新しい商品カテゴリーの検討等、重要な判断には役員がしっかり関与し、お客さまの最善の利益を意識した運営を行います。

（３）行内アフターフォローマニュアルに基づき、お客さまが保有する金融商品・サービスやマーケット環境に関する適時適切なアフターフォローと情報提供を行い、お客さまに安心して長期のお取引をいただけるように努めます。

（４）お客さまに対して適切な商品・サービスの提供が行われているが、定期的にモニタリングを実施します。具体的には、販売動向や特定取引（高齢者取引、乗換販売、優越的地位の濫用等）について本部モニタリングを実施します。

＜ 取組状況＞

（１）お客さまの最善の利益を念頭に、お客さまのご意向、投資経験・知識、資産状況、ご家族構成、ライフプラン等を詳細にお伺いし、お客さまにふさわしい商品・サービスをご提案しております。特に、複雑又はリスクの高い金融商品の勧誘・販売にあたっては、商品の特性等を踏まえ、お客さまにとって相応しいものであるかを慎重に検討し、場合によっては当行からご提案を控えさせていただくこともございます。

（２）取扱商品は、お客さまの長期での資産形成に資することを主眼に、幅広く品揃えております。販売状況や運用状況等をモニタリングし、ラインナップの拡充・見直しを適宜実施、新しい商品カテゴリーの検討等、重要な判断には役員がしっかり関与し、お客さまの最善の利益を意識した運営を行っております。

（３）運用会社との情報連携を強化し、運用会社のプロダクトガバナンス体制の高度化や商品の改善等を通じて、お客さまの最善の利益の実現に努めております。

（４）ＮＩＳＡ制度を活用した積立投資信託やほけんの窓口グループとの提携窓口「とうほう保険プラザ」での平準払保険ご提案により、契約件数は順調に増加しています。

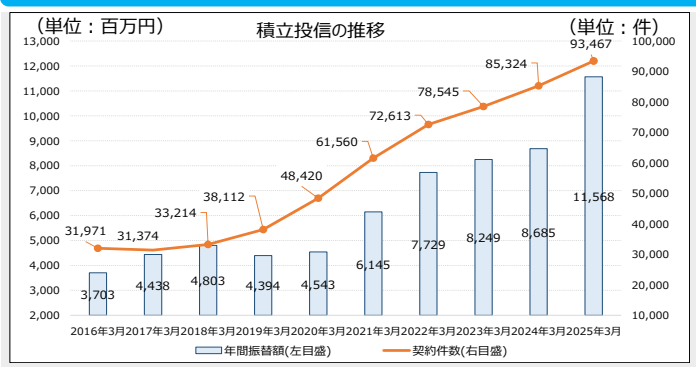
（５）商品契約後も継続的なアフターフォローを通じて、マーケット環境や運用状況、契約状況など適切な情報提供を実施しております。

（６）特定取引（高齢者取引、乗換販売、優越的地位の濫用等）に対しては、継続的に本部モニタリングを実施し、適切な販売体制構築に努めております。

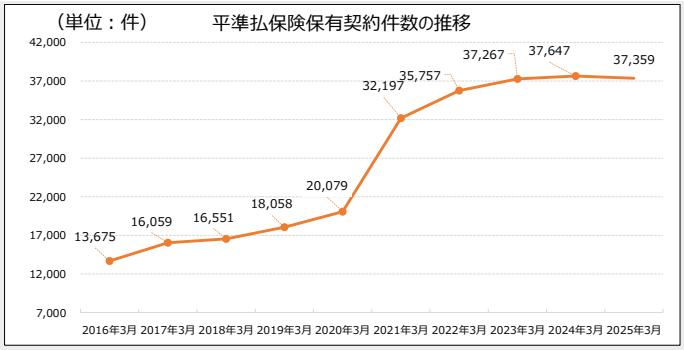
（７）なお、当行では金融商品の組成を行っておりません。

本基本方針・具体的取組方針・取組状況は、金融庁「顧客本位の業務運営に関する原則」における・原則６【顧客にふさわしいサービスの提供】に該当します。

積立型金融商品契約件数の推移



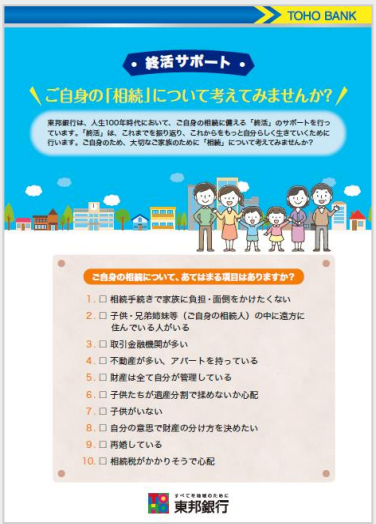
※２０２５年３月末の年間振替額、契約者数には、野村アライアンス新仲介口座を含めておりません。



※２０２１年３月はとうほう保険プラザへの移管分を含みます。

とうほう保険プラザ（ほけんの窓口グループ提携店舗）

相続・信託関連商品



当行では、お客さまのライフステージに応じた商品ラインナップを各種取り揃えております。
「保険の窓口」グループと提携した平準払保険終活サポートをはじめとした贈与・信託商品などもお取り扱いしております。

商品ラインナップ

○投資信託

カテゴリー		商品数	（比率）	うちﾉｰﾛｰﾄﾞ
国内債券		4	3%	2
海外債券		19	14%	4
	先進国	12		2
	新興国	7		2
国内株式		18	14%	10
海外株式		44	33%	18
	先進国	24		12
	新興国	7		3
	先進・新興国、他	13		3
ＲＥＩＴ		14	11%	4
バランス型		29	22%	10
その他		5	4%	0
合計		133		48

（インターネット専用投信を含む）

市場動向を踏まえた商品選定・見直しにより、ラインナップの充実を図ってまいります。
また、今後とも、お客さまの様々な資産運用ニーズに適切にお応えしてまいります。

○生命保険（一時払）

商品種類		商品数	（比率）
円建		15	48%
	定額年金	4	13%
	変額年金	0	0%
	定額終身	10	32%
	変額終身	1	3%
外貨建		16	52%
	定額年金	4	13%
	変額年金	0	0%
	定額終身	12	39%
	変額終身	0	0%
合計		31	

○生命保険（平準払）　保険プラザ含む

商品種類	商品数	（比率）
終身	12	18%
定期	5	7%
医療・がん	28	41%
就業不能時保障	4	6%
収入保障	7	10%
学資	2	3%
年金	3	4%
介護	5	7%
その他	2	3%
合計	68	

６．お客さまにふさわしいサービスを提供できる態勢の整備

＜基本方針＞　―６．お客さまにふさわしいサービスを提供できる態勢の整備―

（１）研修や外部専門資格の取得奨励等を通じて、高度な商品知識や金融知識を備えた専門性の高い人材の育成に努めてまいります。

（２）従業員の動機づけのため、お客さま本位の取組を適切に評価できる業績評価体系の仕組みを整備してまいります。

＜２０２４年度具体的取組方針＞

（１）お客さまのさまざまなニーズにお応えするため、社外専門資格（ＦＰ技能士等）・行内資格等の取得推奨等を通じ、販売員のコンサルティング力、ご提案力を向上させます。

また、お客さまへの提案にあたっては、営業店内で提案内容を協議、提案結果を共有するＰＤＣＡを回し、よりお客さまの資産形成に資する提案となるよう、組織的に取組みます。

併せて営業店の販売員を指導する本部行員を県内各地区の営業部等に配置し、お客さまへ最良の提案ができるよう、日々の営業活動中でサポートします。

（２）営業店の業績評価では、手数料等の収益による評価を撤廃し、お客さまの長期的な資産形成に資する「預かり資産残高」「お客さまの裾野拡大」を重視する評価体系としています。

また、営業担当者の人事評価でも、手数料等の収益による評価を撤廃しています。よって、自分の評価のために、お客さまのご意向等に反して手数料の多寡で提案することはない態勢としています。

（３）「お客さま本位の業務運営に関する基本方針」の全役職員携行、行内研修等での啓発強化により、お客さま本位の業務運営の一層の定着を図ります。

＜取組状況＞

（１）各種研修や勉強会、資格取得推奨等を通じて、ＦＰ資格保有者は増加しています。また、対面、オンラインでの勉強会を積極的に開催し、販売員の専門知識の向上を図っています。

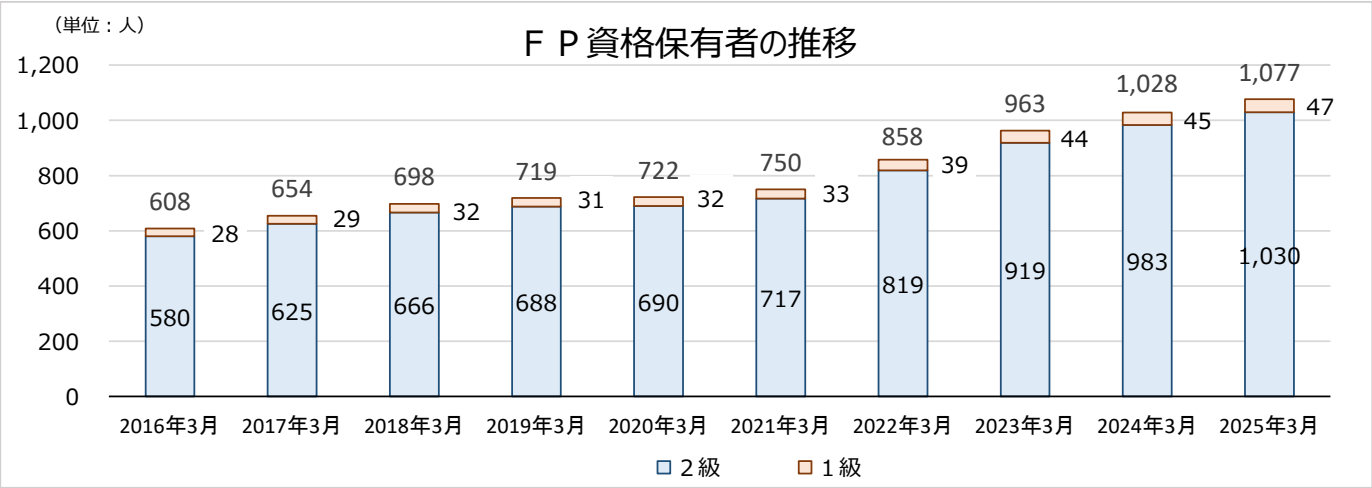
（２）営業店の販売員を指導する本部行員（ＭＡ…マネーアドバイザー）を県内各エリアに配置し、お客さまへ最良の提案ができるよう、日々の営業活動の中でサポートしております。

（３）お客さまへの提案にかかるＰＤＣＡは、営業店内で１～２週間単位で開催する会議を中心に取り組んでおります。

（４）営業店の業績評価では、特定商品に販売が偏らないよう、販売手数料などの収益評価項目を撤廃し、「預かり資産残高」および「お客さまの裾野拡大」を重視する評価体系を継続しています。

（５）「お客さま本位の業務運営に関する基本方針」を全役職員が携行、営業店内で毎週確認を実施する等、お客さま本位の業務運営の一層の定着を図っております。

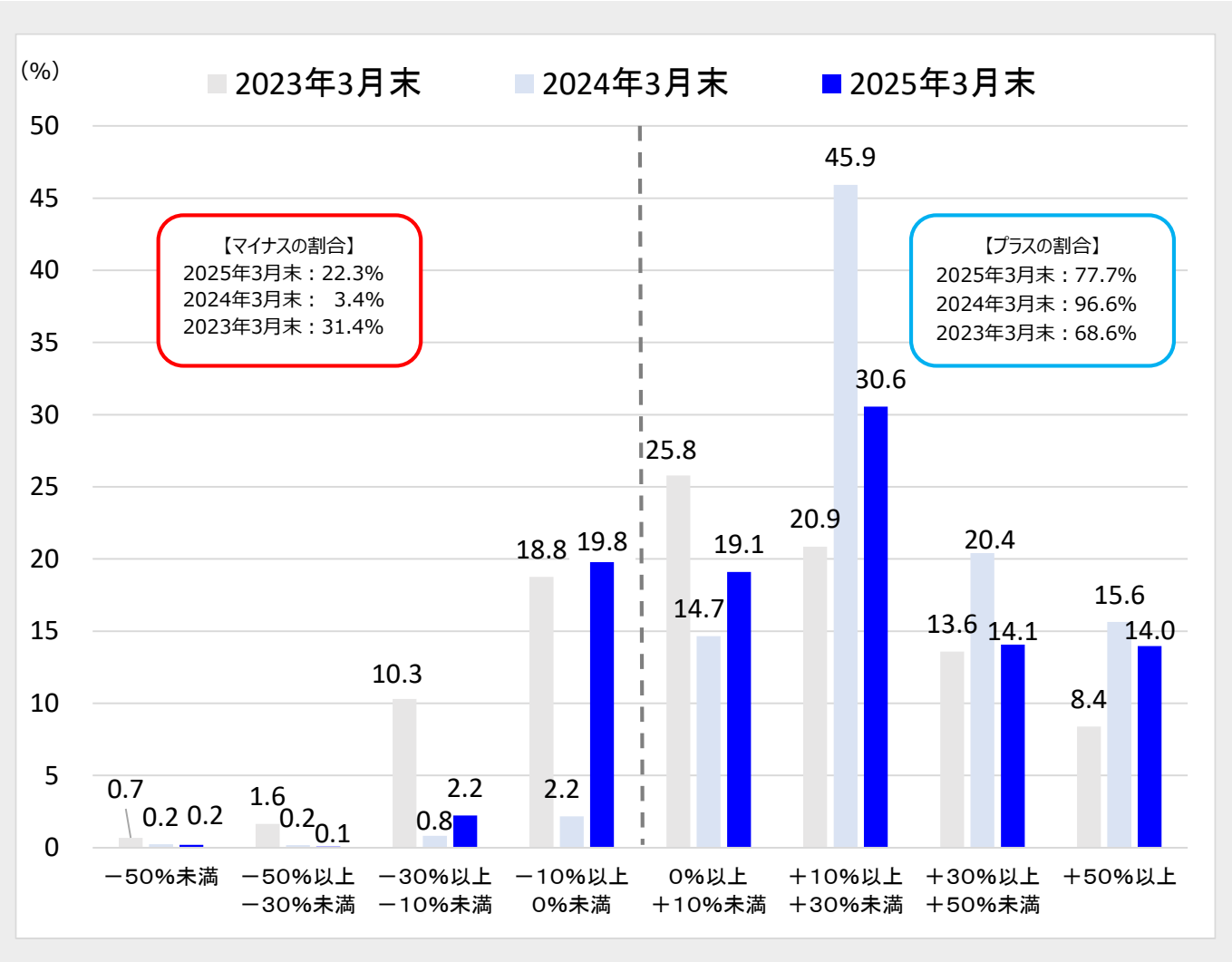
ＦＰ資格保有者の推移



本基本方針・具体的取組方針・取組状況は、金融庁「顧客本位の業務運営に関する原則」における・原則７【従業員に対する適切な動機づけの枠組み等】に該当します。

「投資信託の販売会社における比較可能な共通ＫＰＩ」の状況について

投資信託の運用損益別顧客比率

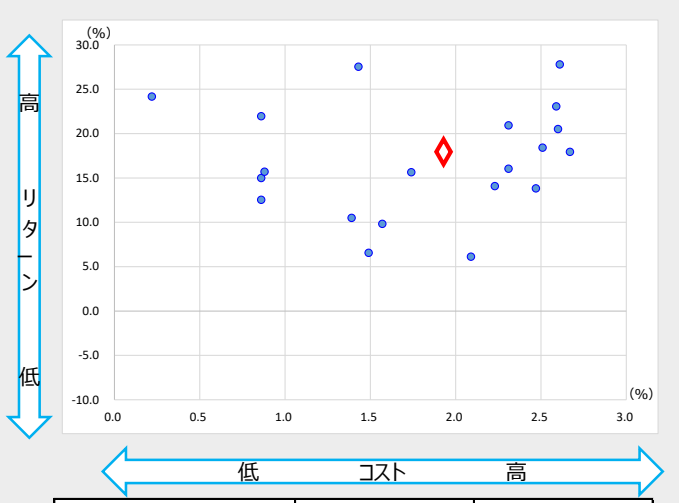


- 2025年3月末時点では77.7%のお客さまが運用損益がプラスとなりました。
- 旧ＮＩＳＡ非課税期間（５年）終了に伴う評価益の確定や2025年3月末にかけての円高・株安の進行などを背景に、2024年3月末時（96.6%）に比べてプラスのお客さまの割合が減少しました。

【運用損益の算出方法】
投資信託を保有しているお客さまについて、基準日（各年３月末）時点の保有投資信託にかかる購入時以降の累積の運用損益（手数料控除後）を算出し、運用損益別にお客さまの比率を示した指標。この指標により、個々のお客さまが保有している投資信託について、購入時以降どれくらいのリターンが生じているか見ることができます。

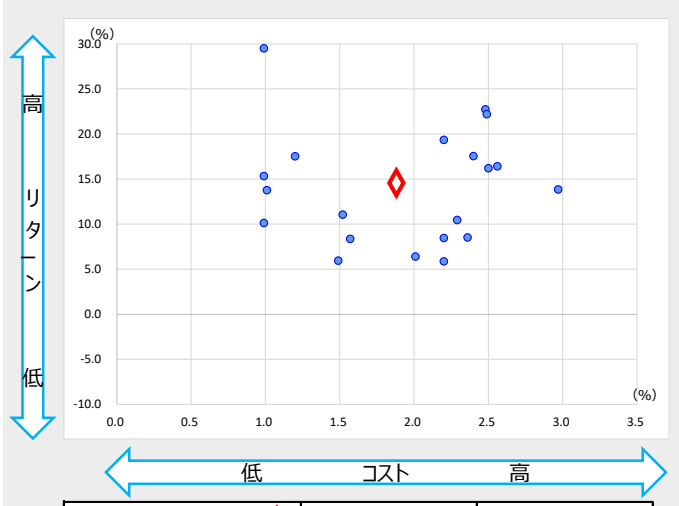
投資信託の預かり残高上位２０銘柄のコスト･リターン

2025年3月末



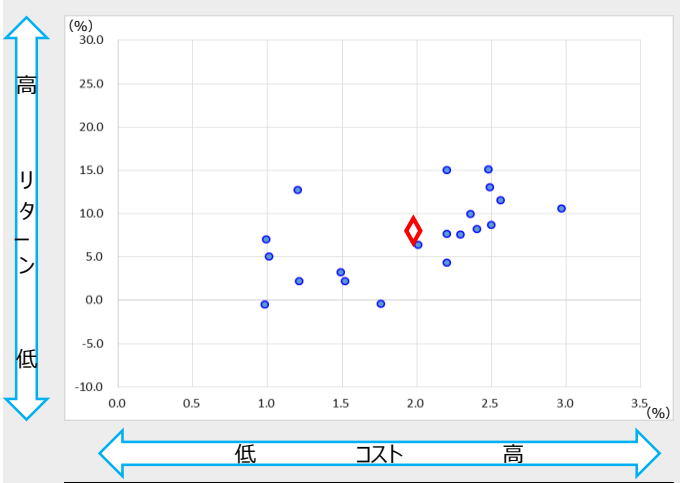
残高加重平均値	コスト	リターン
	1.90%	17.21%

2024年3月末



残高加重平均値	コスト	リターン
	1.95%	14.08%

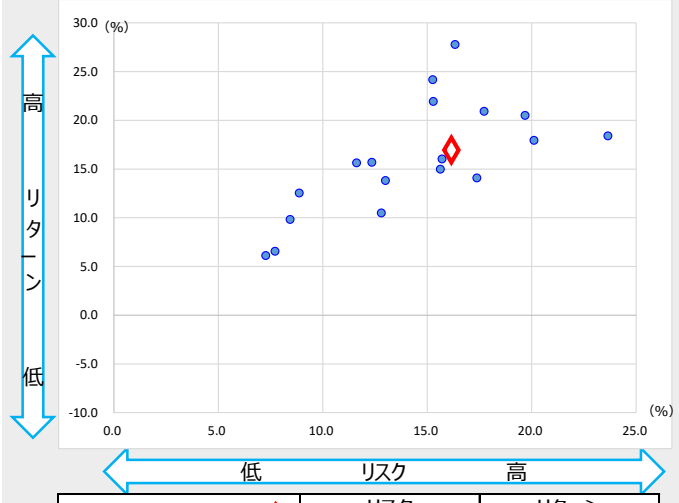
2023年3月末



残高加重平均値	コスト	リターン
	1.95%	7.88%

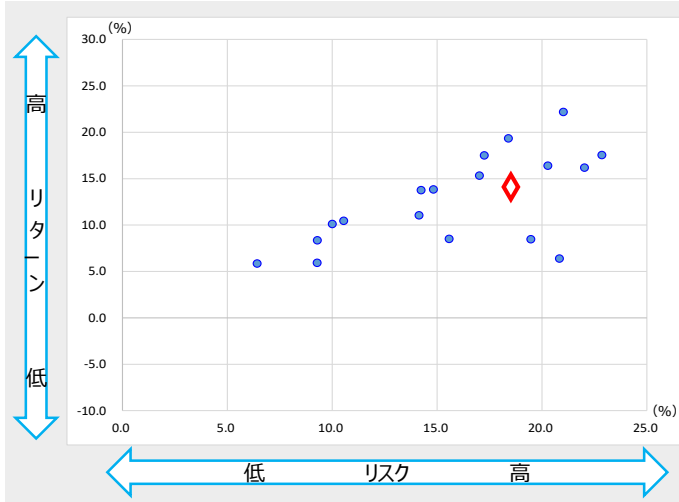
投資信託の預かり残高上位２０銘柄のリスク･リターン

2025年3月末



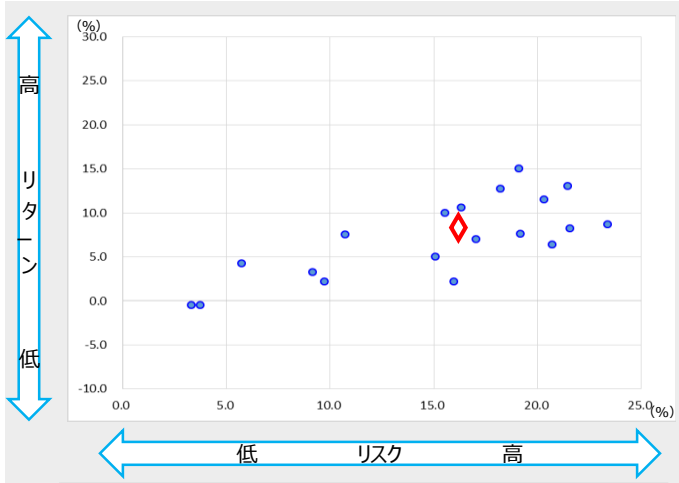
残高加重平均値	リスク	リターン
	16.16%	17.21%

2024年3月末



残高加重平均値	リスク	リターン
	18.02%	14.08%

2023年3月末



残高加重平均値	リスク	リターン
	16.34%	7.88%

・基準日時点（各年３月末）で設定後５年以上の投資信託の預り残高２０銘柄について、銘柄毎および残高加重平均のコストとリターンの関係を示したものです。コストは販売手数料の５分の１と信託報酬率の合計値です。

投資信託の預かり残高上位２０銘柄

2025年3月末

（単位：%）

	ファンド名	コスト	リスク	リターン
1	イーストスプリング・インド株式オープン	2.61	16.33	27.79
2	ＭＨＡＭ株式インデックスファンド２２５	0.86	15.62	15.00
3	財産３分法ファンド（不動産・債券・株式）毎月分配型	1.49	7.71	6.56
4	ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド（毎月分配型）	2.47	12.99	13.82
5	グローバルＡＩファンド	2.59	27.28	23.07
6	次世代通信関連　世界株式戦略ファンド	2.51	23.64	18.41
7	ＧＳ米国成長株集中投資ファンド　毎月決算コース	2.67	20.10	17.95
8	ＳＭＴＡＭダウ・ジョーンズ　インデックスファンド	0.86	15.28	21.95
9	ニッセイ／パトナム・インカムオープン	2.09	7.26	6.12
10	グローバル・ロボティクス株式ファンド	2.60	19.68	20.51
11	ラサール・グローバルＲＥＩＴファンド（毎月分配型）	2.31	15.70	16.04
12	ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド（３ヵ月決算型）	2.31	17.72	20.93
13	のむラップ・ファンド（普通型）	1.57	8.43	9.83
14	ゴールドマン・サックス米国ＲＥＩＴファンドＢコース	2.23	17.37	14.09
15	のむラップ・ファンド（積極型）	1.74	11.61	15.64
16	世界経済インデックスファンド	0.86	8.87	12.54
17	ひふみプラス	1.39	12.80	10.50
18	つみたて先進国株式	0.22	15.26	24.18
19	インデックスファンドＴＳＰ	0.88	12.34	15.70
20	ｉＦｒｅｅレバレッジＮＡＳＤＡＱ１００	1.43	40.69	27.53

2024年3月末

（単位：%）

	ファンド名	コスト	リスク	リターン
1	財産３分法ファンド（不動産・債券・株式）毎月分配型	1.49	9.28	5.94
2	ＭＨＡＭ株式インデックスファンド２２５	0.99	17.01	15.33
3	イーストスプリング・インド株式オープン	2.50	22.02	16.20
4	グローバルＡＩファンド	2.48	27.67	22.74
5	ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド（毎月分配型）	2.36	15.57	8.52
6	次世代通信関連　世界株式戦略ファンド	2.40	22.85	17.55
7	ＧＳ米国成長株集中投資ファンド　毎月決算コース	2.56	20.27	16.41
8	ＳＭＴＡＭダウ・ジョーンズ　インデックスファンド	1.20	17.24	17.52
9	ニッセイ／パトナム・インカムオープン	2.20	6.42	5.86
10	グローバル・ロボティクス株式ファンド	2.49	21.01	22.19
11	ラサール・グローバルＲＥＩＴファンド（毎月分配型）	2.20	19.46	8.47
12	ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド（３ヵ月決算型）	2.20	18.39	19.34
13	ゴールドマン・サックス米国ＲＥＩＴファンドＢコース	2.01	20.83	6.40
14	ひふみプラス	1.52	14.13	11.06
15	ｉＦｒｅｅレバレッジＮＡＳＤＡＱ１００	0.99	42.28	29.50
16	インデックスファンドＴＳＰ	1.01	14.23	13.77
17	世界経済インデックスファンド	0.99	10.00	10.12
18	のむラップ・ファンド（普通型）	1.57	9.29	8.36
19	フィデリティ・ＵＳハイ・イールド・ファンド	2.29	10.54	10.46
20	グローバル・ヘルスケア＆バイオ・ファンド	2.97	14.82	13.85

2023年3月末

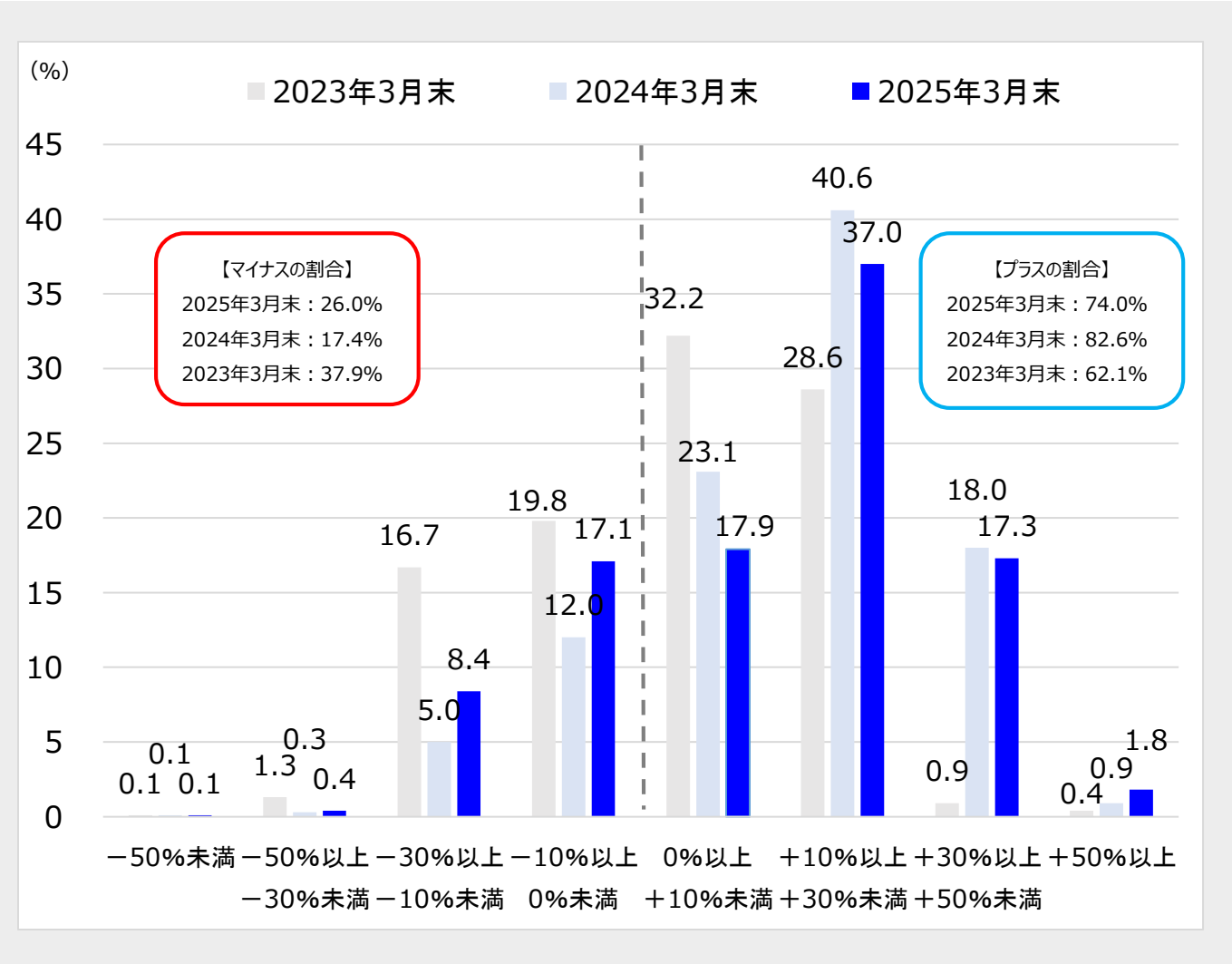
（単位：%）

	ファンド名	コスト	リスク	リターン
1	財産３分法ファンド（不動産・債券・株式）毎月分配型	1.49	9.16	3.25
2	ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド（毎月分配型）	2.36	15.54	9.97
3	ＭＨＡＭ株式インデックスファンド２２５	0.99	17.04	7.02
4	次世代通信関連　世界株式戦略ファンド	2.40	21.54	8.24
5	グローバルＡＩファンド	2.48	27.13	15.08
6	ＧＳ米国成長株集中投資ファンド　毎月決算コース	2.56	20.31	11.52
7	イーストスプリング・インド株式オープン	2.50	23.39	8.72
8	ニッセイ／パトナム・インカムオープン	2.20	5.72	4.31
9	ラサール・グローバルＲＥＩＴファンド（毎月分配型）	2.20	19.16	7.65
10	ＳＭＴＡＭダウ・ジョーンズ　インデックスファンド	1.20	18.19	12.77
11	ゴールドマン・サックス米国ＲＥＩＴファンドＢコース	2.01	20.70	6.38
12	ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド（３ヵ月決算型）	2.20	19.09	15.04
13	グローバル・ロボティクス株式ファンド	2.49	21.45	13.09
14	ひふみプラス	1.52	15.97	2.23
15	投資のソムリエ	1.76	3.72	-0.44
16	インデックスファンドＴＳＰ	1.01	15.08	5.06
17	フィデリティ・ＵＳハイ・イールド・ファンド	2.29	10.72	7.59
18	オーストラリア　インカム　オープン	1.21	9.73	2.20
19	グローバル・ヘルスケア＆バイオ・ファンド	2.97	16.30	10.59
20	リスク抑制世界８資産バランスファンド	0.98	3.32	-0.48

・基準日時点（各年３月末）で設定後５年以上の投資信託の預かり残高２０銘柄です。

「外貨建保険の販売会社における比較可能な共通ＫＰＩ」の状況について

外貨建保険の運用評価別顧客比率

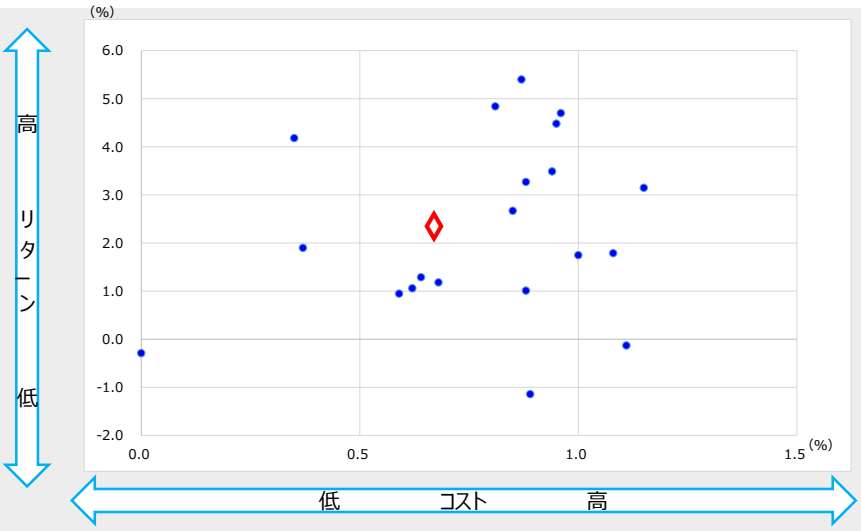


- 2025年3月末時点では74.0%のお客さまの運用損益がプラスとなりました。
- 目標到達による円建終身保険移行によるプラスのお客さまの減少と、円高豪ドル安で比率の高い豪ドル建保険の評価額が減少したことを主因に運用損益プラスのお客さまが減少しました。

【運用損益の算出方法】
外貨建生命保険を保有しているお客さまについて、基準日（各年３月末）時点のお客さまについて、購入時以降のリターンを算出し、全お客さまを１００％とした場合のリターン別の顧客分布を示したもの。この指標により、個々のお客さまが保有している外貨建保険について、購入時以降どれくらいのリターンが生じているか見ることができます。

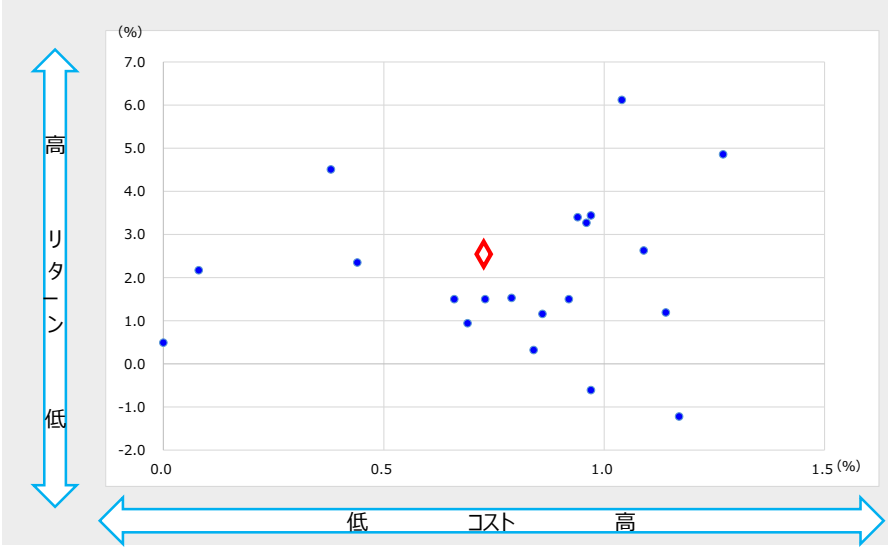
外貨建保険の預かり残高上位20銘柄のコスト・リターン

2025年3月末



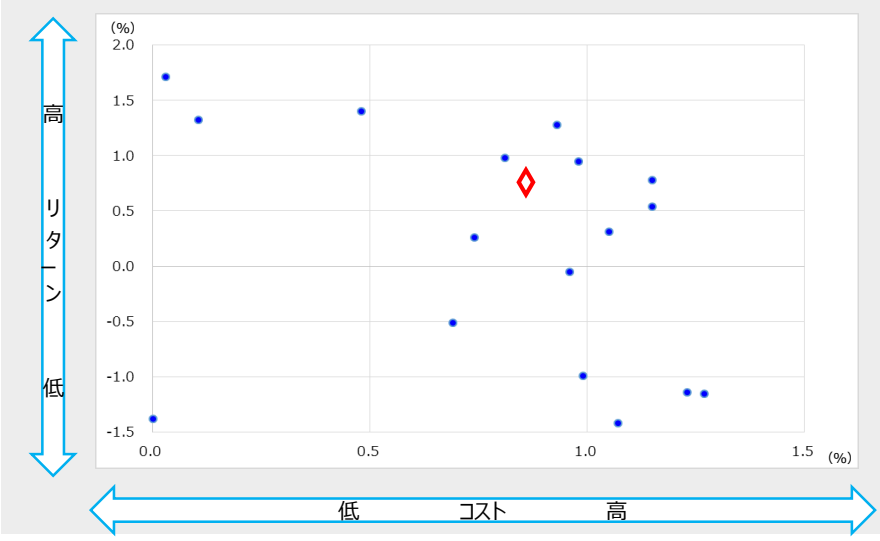
残高加重平均値
コスト
0.71%
リターン
2.43%

2024年3月末



残高加重平均値
コスト
0.74%
リターン
2.59%

2023年3月末



残高加重平均値
コスト
0.73%
リターン
0.89%

・基準日時点（各年３月末）で５年以上保有している外貨建保険の契約における各銘柄について、平均コストと平均リターンをプロットしたもの（最大２０銘柄）。

外貨建保険の預かり上位２０銘柄

（単位：%）

2025年3月末

	商品名	コスト	リターン
1	サニーガーデンＥＸ	0.88	3.27
2	サニーガーデン	0.37	1.90
3	やさしさ、つなぐ	0.62	1.06
4	しあわせ、ずっと	0.64	1.29
5	ロングドリームＧＯＬＤ２	0.87	5.40
6	ビー　ウィズ　ユー　プラス	1.11	−0.13
7	ビーウィズユー （ＵＳドル建）	0.35	4.18
8	未来につなげる終身保険	1.00	1.75
9	おおきな、まごころ	0.88	1.01
10	生プレワールド４	0.89	−1.14
11	定付変額終身保険	0.00	−0.29
12	ビーウィズユー （豪ドル建）	0.59	0.95
13	しあわせ、ずっと２	0.96	4.70
14	ロングドリームＧＯＬＤ３	0.95	4.48
15	生プレワールド５	0.94	3.49
16	積立利率金利連動型年金 （米ドル建） 年金額確定特約付	1.15	3.15
17	えら終受け取る米	0.81	4.84
18	ロングドリームＧＯＬＤ	0.68	1.18
19	プレミアカレンシー・プラス２	0.85	2.67
20	ゴールデンエッグズ豪	1.08	1.79

2024年3月末

	商品名	コスト	リターン
1	サニーガーデンＥＸ	0.94	3.40
2	サニーガーデン	0.44	2.35
3	しあわせ、ずっと	0.73	1.50
4	やさしさ、つなぐ	0.69	0.94
5	ロングドリームＧＯＬＤ２	1.04	6.12
6	ビー　ウィズ　ユー　プラス	1.14	1.19
7	ビーウィズユー （ＵＳドル建）	0.38	4.51
8	未来につなげる終身保険	1.09	2.63
9	定付変額終身保険	0.00	0.49
10	生プレワールド４	0.97	−0.61
11	ビーウィズユー （豪ドル建）	0.66	1.50
12	プレミアジャンプ	0.86	1.16
13	ロングドリームＧＯＬＤ	0.79	1.53
14	プレミアカレンシー・プラス２	0.96	3.27
15	プレミアジャンプ・年金 （外貨建）	0.92	1.50
16	おおきな、まごころ	0.97	3.44
17	積立利率金利連動型年金 （米ドル建） 年金額確定特約付	1.27	4.86
18	生プレワールド３	0.84	0.32
19	プレミアジャンプ２・終身 （外貨建）	1.17	−1.22
20	三大陸	0.08	2.17

2023年3月末

	商品名	コスト	リターン
1	サニーガーデン	0.48	1.40
2	サニーガーデンＥＸ	0.98	0.95
3	しあわせ、ずっと	0.81	0.98
4	やさしさ、つなぐ	0.69	−0.51
5	プレミアジャンプ	0.96	−0.05
6	ビーウィズユー （ＵＳドル建）	0.41	3.31
7	定付変額終身保険	0.00	−1.38
8	プレミアジャンプ・年金 （外貨建）	1.05	0.31
9	ビー　ウィズ　ユー　プラス	1.23	−1.14
10	未来につなげる終身保険	1.15	0.54
11	生プレワールド４	1.07	−1.42
12	三大陸	0.03	1.71
13	ビーウィズユー （豪ドル建）	0.74	0.26
14	ロングドリームＧＯＬＤ	0.93	1.28
15	プレミアカレンシー・プラス２	0.11	1.32
16	生プレワールド３	0.99	−0.99
17	プレミアジャンプ２・終身 （外貨建）	1.31	−2.59
18	プレミアジャンプ・終身 （外貨建）	1.15	0.78
19	ダブルアカウントグローバル豪	1.27	−1.15
20	積立利率金利連動型年金 （豪ドル建）	1.26	−1.77